

みんなの環境

第 38 号 2015 年 2 月 25 日

編集/発行 あつぎ環境市民の会
http://www.geocities.jp/atsugi_kankyo/

あつぎ環境市民の会 10 周年事業

「みんなの環境展 2015」を開催します

井上 允

あつぎ環境市民の会の 10 年間の活動や環境団体の活動を紹介する「みんなの環境展 2015」を 2 月 25 日(水)から 3 月 2 日(月)までアミューあつぎ 5F アートギャラリーで開催する運びになりました。

「美しいふるさとを子どもたちへ」を掲げ、植物、エネルギー、化学物質、廃棄物など全方位を領域として、政策提言ができる力を備えた団体を目指してスタートしたものの、まだまだ十分に市民権を得るまでには至っていませんが、多くの仲間を得てなんとかここまで継続することができました。

今回のみんなの環境展では、昔の暮らしを絵と言葉でまとめた「里山紙芝居」や「ソーラーエネルギーの様々な活用」、10 年間継続して調査してきた大気汚染物質二酸化窒素 (NO₂) の報告、「外来生物」などのパネル展示のほか、講演会や映画会も期間中に日替わりで開催してまいります。

地球温暖化がすすんで、様々な気候変動が起きている現実を、IPCC コミュニケーター平川良信氏が講演します。また、世界でミツバチの大量失踪の原因ともされているネオニコチノイド系農薬を始めとする環境化学物質が子どもの脳の発達に及ぼす影響等について脳科学者黒田洋一郎氏からお話を伺う機会もつくりました。

特別上映会「地球交響曲第一番」(ガイアシンフォニー)は映画.COM シネマのホールをお借りして上映いたします。

さまざまな視点から環境を考える「みんなの環境展 2015」に皆様お誘い合わせてぜひお越しください。

(あつぎ環境市民の会代表)

あつぎ環境市民の会 10 周年事業 「みんなの環境展 2015」

○会期:2 月 25 日(水)~3 月 2 日(月) 10:00~18:00 (2/25 は 13:00 開場)

○会場:アミューあつぎ 5F アートギャラリー 2・3 (厚木市中町 2-12-15 小田急線本厚木駅より 5 分)

主催/あつぎ環境市民の会 共催/厚木市

お問い合わせ/046-241-7976(井上)

〔特集〕 10年の足あと。そしてこれからの想い！

(編集担当への入稿順)

私の自然環境活動

高橋弘毅*

子ども時代を過ごした昭和年代の厚木は、夏満天に北斗七星が輝く下で近隣同士が集い夕涼み。近隣の雑木林は遊び用具工作（弓矢、冬は田んぼに作る小鳥毬、紙・水鉄砲、ゴム動力飛行機・グライダー、木船、竹馬、等）用資材調達場としてガキ大将を中心に（15～20人）遊び場の一部としていた。

その様な地域自然環境に憧れ、少しでも当時の川、雑木林、生き物環境が再生出来ればと「あつぎ環境市民の会」に参加し、月例会での意見交換や学習会、行事などから、昔の自然環境などを再現したいと一縷の望みを抱き参画している。

具体的に意識していることは、自分の身近な居住地域や自分たちが努力すれば少しでも報われるような活動内容を地域自治会や「金田まちなみ推進委員会」で発言や、行動をしている。

小学校2年で終戦を迎え、食材確保のため現在の緑ヶ丘団地一帯の雑木林を鋸、鋏、シャベル、とぐわ等を使い家族6人総出で開墾し300坪位の畠を恩名と赤羽地区夫々の丘陵に確保し、肥料は自宅便壺の人糞を毎月肥桶(こえおけ)2本分2台の自転車荷台に縛りつけ朝4時頃から坂上の畠に施肥し、中途の川で桶洗い、帰宅後朝食し登校など、生活の厳しいことを体得した。また日曜日等は、父親特製の鉄車輪リヤカーに裏庭から堆肥やムシロなどを山ほど積み上げ、ロープを前で2人が牽引、リヤカー押しが3人と家族総出の行事、芋類、菜類、トウモロコシなど収穫品も帰りのリヤカーに積み、帰宅は午後7時すぎ頃だった。畑で焚火の焼き芋が楽しみだった。冬季は頭上にヒバリ囀る声の下、麦芽の踏みつけ作業に始まり、草むしり、施肥、畝作り～麦や豆類の刈入れ、脱穀作業、天日干し～各種農具の手入れや扱いを体験した。

荒廃進行の雑木林再生・保全が大切と、改めて今の子どもたちに自然環境の遊び場としての活用方法や、手入れの方法などを伝承することも大切であると取組んでいる。

～五感を磨きましょう～

体が丈夫でなければ、困っている人を助けることもままならない場合があります。いろいろな身体能力以外も歩きかた、登り方、降り方、の3点支持方法。重いものの持ち上げかた。安心・安全の対応方法。～など沢山あります。

身近な散歩や雑木林で、足元の草の葉や木の幹、珍しいものの発見以外に、どうしてこのような構造なのか、色の役目？ 鳴き声が変わった、急に冷たい風に変化した、クモの巣とクモの位置、ムクドリが電線に沢山いるけど並び方は？ トンビの飛び方は？ つがいらしいヒヨドリの行動は？ 花に来る蝶や昆虫の行動は？ ～世の中 どうして？と思うことたくさんあります。



アサガオの根

[私が調べたアサガオの根の長さは、206m44 cmありました] 「みんな違ってみんないい」と詩もあり少しの疑問解消が、自分自身の保全になり又地域の安心・安全生活に寄与することになるでしょう。《目、耳、鼻、味覚、触覚》は身をもって知るが、その技法は尊い行為に繋がることであろう。

* (たかはし こうき あつぎ環境市民の会 厚木市金田在住)

ボランティアとして「地球環境対応活動」に参加

不破 穰一*



自宅庭でソーラークッカー生活を満喫

地球上の人間の活動の活発化に伴い、人を含む動植物生存環境としての地球環境の悪化が叫ばれるようになって久しい。特に化石燃料の大量消費による地球大気への二酸化炭素の排出は、地球全体の温暖化をもたらし、気温の上昇とそれに伴う諸影響が地球上の諸事項にいろいろと不具合をもたらしている。放置すれば人類滅亡の事態も予測されることから、各種対策がとられつつあるのは周知である。

我々もこの方向で微力を尽くしてきたと思っている。そしてそれなりの成果が出せたと思っている。今後も活動は続けねばならない。しかし本当

に成果は上がっているのだろうかという疑念が無いわけではない。ソーラークッカーの普及が進んだらどうか。ノーである。化石燃料使用節減の意識は高まっただらうか。こちらは高まっただと云えよう。しかし我々の活動がこの意識改革にどれほど寄与しているだろうか。これからの活動では、その成果、効果について考えながら進めてゆくことが重要ではないかとおもわれる。

* (ふわ じょういち あつぎ環境市民の会 ひまわりソーラークッカー研究会 厚木市鷲尾在住)

あつぎ環境市民の会と私

鷲谷 雅敏*

あつぎ環境市民の会の中にあつて平成 24 年 4 月から会の事務局を担当しています。これまでのホームページの管理と合わせ会員への連絡や広報などを担うこととなり責任は大きいのですがマイペースを崩さず「何とかなるさ！」です。

関係する分野ではごみ処理に関心を持っています。厚木市では厚木愛甲環境施設組合を通じてごみの最終処分場を整備していますが、稼働するまで自前の処分場を持たず、ごみ焼却灰の処理場として他県の民間処分場に委託をしています。

以前その一つを見学する機会がありました。山間部の谷戸を利用した施設ですが、その隣には、なんと保育所らしき施設があることに大変おどろきました。私の出したごみが、ここに住む人たちにどんな形にせよ迷惑をかけていることに気づくとともに、ごみの最終的な行き先まで見届けることは責任であることを痛感しました。こんな思いからささやかながら長く会の活動に貢献できればと思っています。



ごみの山 (東京都の最終処分場の例)

筆者 撮

* (さぎたに まさとし あつぎ環境市民の会・事務局 厚木市森の里在住)

〔特集〕 10年の足あと。そしてこれからの想い！

あっという間の10年間

狩野光子*



2006年。子どもたちと教材“アサガオ”を作った。

12年ほど前、宮脇昭著『鎮守の森』の本を読んで感動し、市の環境総務課へ「この本を読んでください！」と届けた事がありました。現在、代表を務めて頂いている井上允氏が環境総務の参事としておられていた時の事です。

この出会いが『あつぎ環境市民の会』の発足するきっかけになりました。井上氏から「厚木市内にも、もっと環境分野

を総合的に纏められる会があった方が良いのでは？」といった提案を受けました。早速、当時三田小学校で環境教育と一緒にしていた、故諏訪哲夫氏に相談させて頂き、また地元で活動している仲間たちへも声を掛けさせて頂きました。

そして「美しいふるさとを子どもたちへ」をテーマに本会はスタートしました。振り返ると、本当に多くの方々のご協力やお力添えを頂いた10年間でした。

この10年、持続可能な社会を目指し頑張ったつもりですが、イメージに描いた荻野の里山には、日本一長い滑り台が作られ、温暖化は待たなし！地震国のわが国に老朽化が進む原発が立ち並んでしまっていたことが分かり、絶望の未来が待っていました。

しかしその一方で、「子供たちの未来を守りたい！」という同じ想いの方たちと出会うと、希望が見え、幸せな気持ちになる自分との出会いもありました。

微力ですがこの気持ちを大事に、残された人生を過ごしたいと思います。

* (かりの みつこ あつぎ環境市民の会前代表 厚木市戸室在住)

あつぎ環境市民の会との出会い

山口修平*

あつぎ環境市民の会の名前を知ったのは、2012年3月の「ミツバチの羽音と地球の回転」の上映会のことをクチコミで聞いたのが始めてでした。早速、ネット検索したら、ホームページがちゃんとあり、「みんなの環境展」を開催したり、定例会や学習会を行い、しっかりとした活動をされていることがわかり、強く興味を持ちました。

残念ながら当日は用事があり、見に行くことができなかったのですが、半年後の「チェルノブイリハート」の上映会に行き、ロビーで対応しているスタッフの方々の人柄を観察して、入会を決めました。

入会以来、会員の皆様方の知識の深さ、視野の広さ、行動力、持続力、環境へのこだわり、次世代への想い、そういった素晴らしいものに感化され、自分も少し成長できたように思います。

この会でできたつながりは、これからも自分の人生にとって大事な糧となるでしょう。あらためて、お礼を申し上げます。

* (やまぐち しゅうへい あつぎ環境市民の会 秦野市鶴巻在住)

新アジェンダ 21 かながわ 改定作業が進んでいます

青砥航次*

皆さん 神奈川県のマリアジェンダ登録って知っていますか。

「アジェンダ 21 かながわ」を実効あるものにするために自分がする事を宣言し、記録に残すことです。

1992年リオ・デ・ジャネイロで開かれた「地球サミット」で持続可能な開発という考え方の元に「リオ宣言」が採択されると共に、「生物多様性条約」と「気候変動枠組み条約」ができました。このリオ宣言を実行するための行動計画として採択されたのが「アジェンダ 21」です。これには各地域の実情に合わせて実行するために地域住民が協議して「ローカルアジェンダ 21」を作るように明記されています。

神奈川県では、1993年1月に県民・企業・行政が協議して「アジェンダ 21 かながわ」を採択しました。これは日本で初めての「ローカルアジェンダ」です。その後、なかなか行動に結びついていないということから2002年に改訂され「新アジェンダ 21」となりました。

その後も国内外に新しい状況や動きが出てきたのに伴い3回目の改訂作業が現在進行しています。この3月半～4月半ばにパブコメを実施し5月に最終案を決定し、8月に公表する手順です。

あたらしいアジェンダの特徴は、項目数を減らすと共に個人、企業、行政がそれぞれ行う事を明確にしたこと、個人が取り組むことの中に、子どもでもできることを意識して入れ明示したことなどがあげられます。

私は改訂の自然関係のプロジェクトチームに属しています。というわけでこれは別チームのことになります。以前から主張している自然エネルギーの利用に関して太陽光発電以外にコストも安く効果の高い太陽熱利用を強調するべきという点については採り入れられました。

一方、自動車についてハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車への買い換えが強調されています。これらは技術の進歩を促す上では効果があるかも知れませんが、私は普通の人が取り組むメニューとしては燃費の良い軽自動車を入れるべきと思っています。ライフサイクル・アセスメント（生産から廃棄に至るまでに掛かる負荷）上効果が高く、つまり地球に優しく費用負担も少ないからです。これについては残念ながら今のところ採り入れてくれれていません。

この他、「アジェンダ 21 かながわ」という名称をもっと親しみやすいように変えたらどうかという話もあります。今後行われるパブコメにどうぞ意見をたくさん寄せてください。

*（あおと こうじ あつぎ環境市民の会 神奈川県自然保護協会 厚木市林在住）

私とあつぎ環境市民の会

松下泰行*

あつぎ環境市民の会が発足して間もなく時期に、私は静岡から厚木に来ました。つまり、会発足10年は私にとっては厚木に来て10年でもあります。

中学生の時から環境に興味を持ち、高校生まで自然の中で過ごし、大学で環境化学を学び、ボランティア活動をしたと探して見つけたのがこの会で、4年前に入会しました。

私の会の活動としては、上映会や講演会などのスタッフ、浄水場と下水処理場の見学をしました。また、3年前から卒業した大学と連携している二酸化窒素（NO₂）の測定のリーダーとして、捕集管の配布や収集したデータを会報に載せたりしています。加えて個人的に、生ごみの出し方に注意したり、趣味である自転車で自然のある場所へ出掛けたりしています。

今後としては、まだ何をするか決めていませんが、新しいことを提案して実現できるように、この活動を続けたいです。

*（まつした やすゆき あつぎ環境市民の会 厚木市妻田北在住）

〔特集〕 10年の足あと。そしてこれからの想い！

会報創刊のころ

長岡 恂*

あつぎ環境市民の会が発足してしばらくのころ、会の主旨に賛同する会員がチラホラふえてきました。定例会は毎月開かれていましたが、いつも出席できる方は限られており、会議の様子や活動の計画・報告などを会員にお知らせする手段が必要になってきました。そして、会の活動を広く市民のみなさまに認知していただくことも重要になってきました。

ホームページの立ち上げやブログでの発信など色々検討されました。しかし紙媒体がイチバン手取り早くて経費もかからないとなり、パソコン編集のA4判4ページで始めることとしました。閉鎖されてしまいましたが、勤労福祉センターのボランティア活動室に無料で使える印刷機、紙折機があり、紙さえ用意すればOKでした。

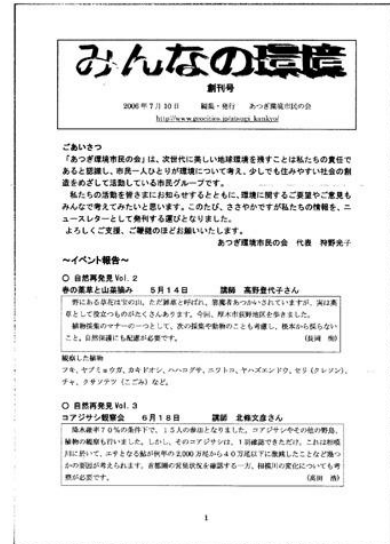
さてこのニュースター(会報)の名称をどうするか… どもみなさんと検討した記憶がありません。“みんなの環境”という名前がどのような過程で決まったのか定かでないのですが、イベント「みんなの環境展」とともに定着したようです。

創刊号のバックナンバーは会のHPで閲覧できますが、気負って創刊したもの内容は貧弱です。でも活動の計画や報告はきっちり掲載されています。第4号までは毎月発行とガンバッテますネ～。

このバックナンバーは12号が欠けています。パソコンがクラッシュしたためです。バックアップがありませんでした。これまでの9年間、パソコンや外付HDは何回もクラッシュし、毎回、頭を抱えました。でもバックアップがとってあったため、何とか復活できましたが、この号だけダメでした。

会報、読んだ後どうしていますか？ゴミ箱へポイですね。ちょっともったいないです。会の10年分の歴史が記録されています。個人ではなかなか保存できません。そこで毎号、厚木市中央図書館に寄贈しています。ここで保存してもらっているんです。ここなら100年後でも閲覧できます。100年後の人たちが「あつぎ環境市民の会」をどう評価するか、楽しいではありませんか。

* (ながおか じゅん あつぎ環境市民の会 厚木植物会 厚木市毛利台在住)



2006年7月創刊号。狩野代表の創刊あいさつを掲載

六さんの紙芝居

櫻井進六

小泉武夫先生の講演会を機に入会させていただいた新人です。10年間ご苦労でした。みんなの環境展当日には六さんの紙芝居をします。ご期待ください。

* (さくらい しんろく あつぎ環境市民の会 厚木市七沢在住)

聴衆を魅了！ 小泉武夫氏発酵食品講演会



「健康をつくる発酵食品の神秘」と題して小泉武夫氏の発酵食品講演会を2014年11月24日、厚木市文化会館大ホールで開催しました。講演に先立って、会が募集した「私の自慢の発酵食品のレシピ」の発表がありました。厚木市や周辺地域の個人、企業、商店から6件の応募があり、それぞれユニークでだれでもが利用できるレシピが紹介されました。

小泉武夫氏は講演で、発酵食品は保存か効き風味があることが称賛されてきたが、一方、驚くべき保健的機能性を有していることに着目、それらに視点をあわせて述べました。ピュルピュルと胃袋に直行するとか、同氏特有の言い回しも飛び出し会場が沸きました。

～ ～ ～ ～

「小泉武夫講演会」来場者のアンケート集計報告

山口修平

回収率

来場者	回収	回収率
323	153	47%

性別

男性	女性	無記入	合計
33	115	5	153
22%	75%	3%	100%

年代

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無記入	合計
1	3	6	14	24	63	33	2	7	153
1%	2%	4%	9%	16%	41%	22%	1%	5%	100%

来場者の住所

厚木市内	厚木市外	無記入	合計
97	56	0	153
63%	37%	0%	100%

講演会を知ったきっかけ(複数回答)

知人の紹介	インターネット	厚木市広報	タウンニュース	新聞	ラジオ	その他	合計
81	0	22	10	2	0	43	158
51%	0%	14%	6%	1%	0%	27%	100%

講演会にきた動機(複数回答)

知人等の薦め	発酵食品への興味	レシピに興味	小泉氏の講演に興味	その他	合計
40	112	33	83	2	270
15%	41%	12%	31%	1%	100%

講演会の評価

	とても素晴らしかった	良かった	期待したほどではなかった	無記入	合計	
1部レシピ紹介		65	65	7	16	153
2部講演会		108	24	0	21	153

)

「小泉武夫講演会」来場者のアンケート 自由意見は78件いただきました。(以下抜粋)

- 素朴なお人柄での講演会はとても楽しかったです。発酵食品大好きな私ですが、ますます好きになりそうです。レシピは是非参考にしたいです。
- 甘酒は点滴、お酢の効能、納豆、味噌、小泉先生の熱い語りに発酵食品のすごさを感じました(笑)味噌で体内の放射能を排出する話しが印象的でした。もっと子どもたちに意識して発酵食品を食べさせようと思います!!
- みそのことが大変印象に残りました。みそ汁は飲む点滴というのが目にとまりその事がいつまでも頭に残っていました。毎年みそ作りしていますが、やめようかなと思ったりしましたが頑張ってますみそ作りしようと思いました。身内に教えたいです。

あつぎ環境市民の会 10周年事業 「みんなの環境展 2015」

○展示内容

- ・10年のあゆみパネル展示 (あつぎ環境市民の会)
- ・さまざまなソーラークッカー展示と実演 (あつぎ環境市民の会/ソーラークッカー研究会)
- ・スモールソーラー電源・ペレットストーブの展示と実演 (ソーラークッカー研究会)
- ・太陽光発電とメガソーラー発電のパネル展示 (PV-NET)
- ・地球温暖化防止活動啓発パネル展示 (神奈川県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・外来生物のパネル展示 (厚木植物会、NPO 法人神奈川県自然保護協会)
- ・大気汚染物質 NO₂ の10年間の測定結果 (あつぎ環境市民の会/神奈川工科大学)
- ・私の自慢の発酵食品ーレシピのパネル展示 (あつぎ環境市民の会)
- ・里山紙芝居 (あつぎ環境市民の会)
- ・近隣環境団体の活動パネル展示 (荻野自然観察会、七沢里山の会、あいかわ自然ネットワーク、神奈川トンボ調査・保全ネットワーク、依知南公民館ほか)

○ギャラリートーク

2月26日(木)、27日(金)、28日(土)、3月1日(日)、2日(月) 11:00~13:00

○展示期間中のイベント

- 2月25日(水)13:30~14:30 市民講座:「木づかい」 (無料) ルーム 601・602
- 2月27日(金)14:00 市民講座:「厚木市のエネルギー政策」 (無料) ルーム 610
- 2月27日(金)18:30 特別上映会:「地球交響曲第一番」(前売り1,000円) ホール 112
- 2月28日(土)14:00 講演:「地球温暖化と異常気象」 (無料) ルーム 601・602
- 3月1日(日)14:00 講演:「環境化学物質と子どもの脳の発達障害」(500円)ルーム 502・503

みんなの環境 第38号 2015年2月25日発行

編集・発行 あつぎ環境市民の会 代表 井上允 / 制作 長岡恂

e-mail: mkt.inoue117@gmail.com

事務局 〒243-0122 厚木市森の里 3-4-3 鷺谷雅敏方

e-mail: pxa05613@nifty.com

郵便振替口座 00200-7-132779 (年会費 1000円)

(C)あつぎ環境市民の会 2015